

環流丘公園遊歩道

- ◆中部東西横貫公路(台 8 号線 180.4km 地点)上方 2km
- ◆布洛湾下段段丘駐車場脇
- ◆295m
- ◆平坦、一般向き
- ◆ここは有史前の遺跡が発掘されたところです。その後戦前まで原住民の部落がありました。布洛湾(Brugan)とはタロコ語で「こだま」という意味です。布洛湾公園には巨大な片麻岩が重なり合うようにいくつもみられます。これはここがかつては立霧溪の旧河道だったことを証明するものです。詳しくは遊歩道の途中にある解説パネルか布洛湾管理ステーションのビデオでご覧になれます。春はタイワンシオジ(白鷄油)の満開の白い小花が、4,5月にはタカサゴユリが目を楽しませてくれます。散策のあとは展示館にもよってタロコ族のおばあさんの機織りを見学していただきます。

布洛湾—燕子口遊歩道

- ◆円形劇場脇→中部東西横貫公路
- ◆400m
- ◆標高差 120m、階段下り 15 分、上り 20 分
- ◆円形劇場後方に台湾原生種の台東火刺木(ピラカンサの仲間)が栽培されています。もとは台湾東部の乾燥した河原に自生していたものですが、冬に樹一杯に可愛らしい紅い実を付けることから盆栽用に移植され、今では野外ではほとんどみられなくなりました。劇場後方の温室ではタカサゴユリをはじめとして、こういった希少原生種を栽培しています。

上段段丘竹林遊歩道

- ◆下段段丘展示館横階段←200m→上段段丘←200m→上段段丘竹林遊歩道(山月村裏)
- ◆400m
- ◆平坦、一般向き(但し、下段段丘から上段段丘まで階段約 10 分、車で上段段丘まで上がることもできます)
- ◆竹林遊歩道は宿泊施設の裏にあります。タロコ族の人達はかつて立霧溪の流域に定住した時、必ずタイワンマダケを植えました。タケノコを食用にただけでな

く竹は生活器具や家屋の材料になったからです。ここは熱帯季節風雨林に属し、ガジュマル(榕樹)、アカギ(茄苳樹)、フシノハアワブキ(山猪肉)などが多く、動物、鳥類が集まってきます。